

AE 減水剤 **高機能タイプ**

リグエース VF200H/VF200HR

(標準形・I種)

(遅延形・I種)

リグエース VF200H および VF200HR は、リグニンスルホン酸化合物とポリカルボン酸エーテルの複合体を主成分とする無塩化タイプの液状製品です。このうちリグエース VF200H は、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の AE 減水剤・標準形 (I 種) に、リグエース VF200HR は同規格の AE 減水剤・遅延形 (I 種) にそれぞれ適合する混和剤です。

リグエース VF200H および VF200HR は、特にコンクリートの粘性低減効果が高く、ポンプ圧送性や打込み・締固め等の施工性を大幅に改善することができます。

特長

1. コンクリートの粘性を大幅に低減でき、ポンプ圧送性や打込み・締固め等の施工性を著しく改善することができます。
2. 従来の AE 減水剤より大幅に単位水量を低減できます。
3. 経時によるスランプロスを大幅に低減できます。
4. 環境温度や使用材料などに伴うフレッシュ性状の変動が小さくなります。

主成分および物性

種類	区分	主成分	外観	密度 (g/cm ³ , 20℃)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
リグエース VF200H	AE 減水剤 (標準形 I 種)	リグニンスルホン酸化合物とポリカルボン酸エーテルの複合体	暗褐色液体	1.02~1.13	1.4	0.00
リグエース VF200HR	AE 減水剤 (遅延形 I 種)	リグニンスルホン酸化合物とポリカルボン酸エーテルの複合体	暗褐色液体	1.02~1.13	1.4	0.00

*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

用途

レディーミクストコンクリート、流動化コンクリート、単位水量を低減したいコンクリートなど、一般の土木・建築用コンクリートに幅広く使用できます。

使用量と使用方法

1. リグエース VF200H および VF200HR の標準使用量は、セメント (結合材) の質量に対して 1.0% です。
(例、セメント 300kg/m³ の場合、VF200H および VF200HR を 3kg/m³ 使用)
2. 使用量の範囲はセメント (結合材) の質量に対して 0.6~1.5% です。
3. リグエース VF200H および VF200HR は、単位水量の一部として水に混合してご使用ください。

空気量について

所定の空気量が得られるように Air タイプを選定してご注文ください。もし、所定の空気量が得られない場合は当社までご一報ください。なお、AE 剤は当社支給のものをご使用ください。

リグエース VF200H/VF200HR

性能

JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による性能評価例

試験項目	リグエースVF200H			リグエースVF200HR			
	AE減水剤標準形規定値	試験値	評価	AE減水剤遅延形規定値	試験値	評価	
減水率 (%)	10以上	15	適合	10以上	15	適合	
ブリーディング量の比 (%)	70以下	50	適合	70以下	54	適合	
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+60	適合	+60~+210	+120	適合
	終結	-60~+90	+55	適合	0~+210	+120	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	110以上	130	適合	110以上	132	適合
	材齢 28日	110以上	120	適合	110以上	125	適合
長さ変化比 (%)	120以下	99	適合	120以下	99	適合	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	97	適合	60以上	98	適合	

注) 混和剤使用量: C×1.0%

使用および取扱上の注意事項

- ① 本商品は、他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように（凍結温度：-1℃）保管してください。
- ② 凍結した場合には、温めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
- ③ 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
- ④ 目に入った場合は、速やかに水で洗い、必要に応じて専門医の診断を受けてください。
- ⑤ 飲み込んだ場合には、多量の水を飲ませ、専門医の診断を受けてください。
- ⑥ 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。

使用および取扱いの前に、当社の安全データシート(SDS)をお読みください。

製造元



本 社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2 丁目 2 5 番 5 号 ☎ 03 (3552) 1341

東京営業部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2 丁目 2 5 番 5 号 ☎ 03 (3552) 1261

ここに記載された事項は、細心の注意を払って行われた実験事実に基づくものですが、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
なお、ご不明の点がございましたら、当社担当までご連絡ください。